



2007～2008年度  
国際ロータリーのテーマ  
RCは分かちあいの心  
2007～2008年度  
ウィルフレッド J. ウィルキンソン

# Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日  
会長：岩本 成郎  
幹事：西本 哲  
クラブ広報委員：亀井 直人  
例会日：毎週木曜日PM12:30～  
会場：ヒルトン名古屋  
事務局：460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3  
ヒルトン名古屋910号  
TEL：052-211-3803  
FAX：052-211-2623  
MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp  
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

## 第1330回例会

～会員増強及び拡大月間～  
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2007年8月9日(木) 晴 第6回

司会：八木沢幹夫会場委員  
斉唱：「我等の生業」  
ゲスト：2007～2008年度R1第2760地区会員増強委員長 菊岡 深智子さん

### 会長挨拶

岩本成郎会長



皆さんこんにちは。急な訃報の知らせに我が耳を疑ったという思いです。大変残念でございましたが、水谷由紀夫さんの御冥福をお祈り申し上げます。

暦の上では立秋ですが、多くの地域では猛暑が続いております。夏の甲子園も始まり夏本番が今から始まるのかなといった感じのする今日この頃です。

それではタイ王国と日本企業についてお話し致します。この度、経済産業省の事業計画として、日本ものづくり素形材産業グループタイミッションとして参加、3月4日から3月10日の一週間タイ王国における日本企業進出の現状と中長期におけるあるべき姿、及び素形材産業日本ものづくりPRを目的として見てまいりました。タイ王国は自動車産業が大きく伸びている国であります。現地での競争も厳しくなっており、日本国内と同様な対応が必要と思われまます。

タイ進出企業の売上は、この数年で大きな右肩上がりですが、政情不安などを反映して昨年は伸びておらず、今後の見通しは下方修正となっています。タイ政府は自動車を始め人材育成及び日本のもつものづくり技術に注力し、タイ王国発展の要員としています。日系メーカーや現地優良メーカーは(鋼鉄材)等原材料および工作機械は日本製が良く、一部ですがドイツ製も使われていますが、コスト面から韓国、台湾製を使う企業も増えています。現地での取引は月末締翌月払い(小切手若しくは現金)が通常であり、日本の取引慣行(120日手形)はありません。

しかしユーザーからのダブルスタンダードにより、買い叩きの状況もあります。これは日系メーカーと現地メーカーを比較する事により、日本国内よりも厳しい取引条件を提示していると思われるケースもあります。又タイ国のみならず海外進出においてアジアでのコスト及び品質面での競争が厳しくなっていることから、進出による収益確保と同時に技術流出も念頭において無防備な技術支援、援助は将来日本のものづくり企業にとって負にならない対策が求められる事と思ひます。

### 出席報告

田中隆義出席副委員長

会員72名 出席47名 (出席計算人数50名)

出席率70.0% 8月 2日は補填により 96.0%

### 幹事報告

西本 哲幹事

- ・次週8月16日は例会休会です。事務局の休みは8月11日(土)～8月15日(水)までです。したがって8月16日は休会ですが、事務局は通常通りの勤務です。
- ・新潟県中越沖地震義援金として1人当たり1,000円、計72,000円をニコボックスより抛出し納入します。
- ・本日、緊急連絡網をメールボックスに入れてあります。お盆休みに何かありましたら連絡網をご覧ください。
- ・本日、地区大会の案内をメールボックスに入れてあります。要項をよくご覧いただき出欠のお返事を8月23日迄にお願いします。出席義務者の方は必ずご出席をお願いします。

### 臨時例会変更のお知らせ

名古屋南	8/29(水)			
名古屋北			9/14(金)	
名古屋東		9/3(月)		
名古屋東南			9/12(水)	
名古屋和合			9/12(水)	
名古屋名東			9/11(火)	
名古屋名北			9/12(水)※	
名古屋栄	8/27(月)◆		9/10(月)※	9/17(月)※
名古屋昭和	8/27(月)	9/3(月)		9/17(月)※
名古屋西南				9/20(木)
名古屋空港				9/17(月)※
尾張中央			9/12(水)	9/19(水)
名古屋城北	8/28(火)			

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。  
◆はサイン受付時間が17:00～18:00となります。

### ニコボックス

田中隆義ニコボックス副委員長

- ・8月22日は私の誕生日です。よろしく。 **山田 鎮浩さん**
- ・7月15日に32回目の結婚記念日を迎えました。2人の子供の年齢は38才と36才です。さて、何故でしょうか? **高須 洋志さん**
- ・水谷由紀夫さんをしのんで。 **岡本 忠史さん**
- ・先週末に蓼科高原のゴルフ場で当RC岩田吉廣グループの元気な面々にお逢いしました。また元会員の山田賢造君にも逢いましたので、こんな処でゴルフをしているのなら早く瑞穂RCに戻って来いと云っておきました。 **野崎 洋二さん**
- ・本年度はまじめに行きます。内田さんあまり誘わないで下さい。 **堀 慎治さん**
- ・堀さんの夜の生活が・・・少しはクラブ活動を控えさせて下さい。 **内田 久利さん**
- ・八木沢様が大変お世話になりました。 **守谷 巖樹さん**
- ・今週は野崎さんに色々お世話になりました。ありがとうございました。 **入山 治樹さん**

地区ロータリー未来委員会：遠山堯郎委員

2007年の立法審議項目は318項目ありました。取り急ぎ重要なものだけ報告いたします。出席に関してですが、07014の事案でロータリー年度の各半期ごとに例会の50%の出席をするよう義務づける件が決議されました。原則100%出席は変わりありません。なお07015議題で会員に年度の半期間において、50%の例会出席し、そのうち25%は会員の所属する例会に出席することは否決されました。ということで、何でもいいので50%出席するということですが、最終目的は例会100%ですよ、ということです。7月・8月は1\$=120円換算です。

卓話

2007～2008年度RI第2760地区会員増強委員長  
菊岡深智子さん

「会員増強は四大奉仕活動の基盤である」



皆様こんにちは。菊岡でございます。今日のタイトルは非常に大きく掲げておりますが、「会員増強は四大奉仕活動の基盤である。」です。「会員増強」は「あなたの手・あなたの心」につきると思います。これに関して話を進めてまいります。

当クラブは発足27年と聞いています。そして現在72名の会員を有しています。我々の2760地区・81クラブ

ですが、瑞穂さんは30位以内に入っています。27年の継続はそんなに簡単なことではないと思います。ただ最近では会員増強が厳しいですね。しかし、世の中は移ってきています。今日女性の方が見られないのは少し寂しいです。でも、色々なところを回らせていただいておりますが、無理をすることは無いと思います。特に瑞穂さんは27年の歴史があります。違和感のあるようなことはそれに対するムード作りも時間がかかりますし、厳しい努力が必要になってきます。人数的に72名ですので、ちょうど色々な活動がしやすい人数だと思います。そして皆さん若くて、整然と座っていらっしゃいます。そういうところから見ても、72名というのは運営のしやすい数だと思いますが、ここでもう一踏ん張りなされると、2760地区が日本一の地区になるのではと感じます。と言いますのは、2760地区は全国で2番目なのです。そして、会員増強委員長さんが前回7月23日の会員増強委員会に出席していただいた時に、江崎ガバナーさんが「第1番の方針はクラブの基盤の強化です。クラブの魅力を高めましょう。」とおっしゃいました。そのあと、国際R会員組織コーディネーターの服部良樹さんの考案の中で、「会員増強の『増』は増員、『強』は強化である。増員だけで強化しなければロータリーは衰退する。ざるの様な組織になってしまっはいけませんよ。」とおっしゃいました。「ざるからこぼれるようなことをしてはいけない。」ということですが、これは退会防止のことだと思います。そして私たちは会員を増強する時に、職業分類や市場調査をしますが、昨今は色々な職業がありまして変わって来ておりますが、顧客(新会員)を獲得しても、アフターサービス(情報提供と教育)をしなければ客離れ(退会)となってしまう、とおっしゃいました。このざるの目を閉じれば、夢ではなく、会員数日本一の2760地区が誕生です。と服部良樹さんはおっしゃられました。

それから7月30日には私の処へFAXがきました。私が会員増強委員だった頃、1位は2560地区(京都・福井・滋賀・奈良のエリア)で5270名。我々2760地区は5235名で35名の差がありました。6月末の情報ではあと一人で追いつくそうです。勝ち負けを言うてはいけませんが、あと2人増えれば「日本一の

2760地区」になります。そんなに難しい目標ではないと思います。しかし、会員の維持や強化とはどんなことを言うのでしょうか。どんな教育を実施すればいいのでしょうか。「新会員からの教育」です。これはわかっているようで、具体的にはなかなかできないことの一つです。新会員さんが「ロータリーとはなんですか?」という質問をします。先輩として「段々わかってくるよ。」と言うだけでは答えにはなりません。せっかく入会して希望に燃えている新会員さんも嫌気がさしてしまいます。それが続くと例会を欠席するようになり、ついには退会という寂しい結果になってしまいますよ、と言われました。私も入会して17年になりますが、ロータリーの事をわかるのに5年かかりました。この例会に何が秘められているのか。組織があって、運営と規範・理念があるということは5年過ぎてからわかってきました。たくさんの委員会がありますが、人数が少ないと一人の人の責任・責務が多くなります。三河地区は20数名ですので、兼務なさっています。その中で、ロータリーの組織をきちっと行ってらしたことに感動し、心を打たれました。ロータリーの皆さんそれぞれが経済を背負ってらっしゃる上で、ロータリーの奉仕活動に手をさしのべ活動していらっしゃるのですね。そういう意味からもやっぱり、私自身が楽をするという意味ではなく、この72名もあと20名・30名増えるのもっと幅広い活動ができるのではないのでしょうか。そういう意味からも、会員増強は日常茶飯事でそれぞれが考え、自分たちの手で会員を増やしてみようではどうでしょうか。やはり数は数を生みます。自分の職業をなげうってまでとは申しませんが、仕事があって、生活の糧があってこそ奉仕活動が活発になり、生かされます。会員増強は常に一生懸命にやっていただきたいと思います。

ロータリーは会員さんの集まりです。やはり皆さんの手で、人が人を生んで、人の心から奉仕活動を、ロータリーの精神をどんどん大きくしていく組織だと思います。仕事を生かし、みなさんとも仲良くして、余った熱いエネルギーを結集して、2760地区会員増強を確立していくことに協力をお願いしたいと思います。冒頭に申しました「ざる」ではいけません。会員増強は非常に厳しい状況ですので、ガバナーも難しい数字は出しておりません。先輩方に対しても私たちの役割は、ロータリーの精神を説いて、仲間を増やして、そして奉仕活動をどんどん大きくしていくことです。奉仕活動は四大奉仕の基盤です。人の心で・人の手でロータリーはどんどん栄えて、平和を築くために、もっとロータリーを一生懸命やりましょう。仲間を増やしましょう。みなさんまだお若いのです。もう一がんばりしていただいて、72名を100名以上にしますと、30位以内よりもっと上へいきます。私の「増やせ増やせ」の話から、自分たち瑞穂ロータリーの環境を一段と深めるためにみなさん1人はお友達を誘ってください。

そして人間には「いい」も「悪い」もないと思います。後は教育です。誰でも優しくされるとついて行きます。皆さん、こんな簡単な要望です。次の何かの機会には、「菊岡君、72名が100名までもう手が届きそうだよ。」と答えていただけたら、みなさんにご褒美を持ってまいります。前回の会員増強委員会の時に、RI会長が今年度は会員が減ることに危機感を抱いていらして、皆さんに記念バッジを贈呈なさいました。入会者ではなく、推薦者に頂けます。この推薦者の誇りあるバッジを全員の胸に付けられるようにがんばりましょう。ぜひともご協力願いたいと思います。

今週卓話

8月23日(木)

卓話講師：シャロンアート代表 柏岡 恵理さん  
テ - マ：「ココをおさえるとヨーロッパ美術がもっと面白くなる」～近代美術の流れ～

次週行事

8月30日(木)

テ - マ：第2回 CF